



葛飾区不燃化特区建替え助成対象工事承認申請書

年 月 日

（宛先）葛飾区長

住所
申請者 氏名 印
連絡先 （ ）

葛飾区不燃化特区建替え助成金交付要綱に基づき、助成対象工事の承認を受けたいので、関係書類を添えて、下記のとおり申請します。

なお、助成対象工事として承認された際には、速やかに助成対象工事に着手し、建替え工事完了後、助成金の交付申請を行います。

記

- 1 所在地 (住居表示) 葛飾区 丁目 番 号
(家屋地番) 葛飾区 丁目 番地
- 2 内容 別紙事業計画書のとおり
- 3 添付書類
 - ・案内図
 - ・公図写し
 - ・既存建築物の建築確認済証
又は既存建築物の登記事項証明書
又は固定資産税通知書及び課税明細書
又は固定資産課税台帳及び土地・家屋名寄帳の閲覧による書類
 - ・既存建築物等の配置図、平面図、面積表（除去範囲を記載）
 - ・新築建築物等の配置図、平面図、面積表
（敷地面積、建築面積及び延床面積が分かるもの）
 - ・敷地及び対象建築物の写真
 - ・経費見積書（除却、設計を分離したもの）
 - ・印鑑登録証明書
 - ・その他【 】



葛飾区不燃化特区建替え助成対象工事承認申請書

年 月 日

（宛先）葛飾区長

申請者は、既存建築物の所有者又はその2親等以内の親族で、かつ、除却費・設計費等の両方を支出する方です。

住所 東京都葛飾区立石5-13-1
申請者 氏名 葛飾 太郎
連絡先 03(3695)1111



成金交付要綱に基づき、関係書類を添えて、下記のとおり申請します。

なお、助成対象工事として承認された際には、速や工事完了後、助成金の交付申請を行います。

※印鑑登録されているもので押印してください。

※建替え助成に関し区へ提出する書類には、全て同一の印鑑を使用していただく必要がありますのでご注意ください。

記

- 1 所在地 (住居表示) 葛飾区 △△△丁目○○番□□号
(家屋地番) 葛飾区 △△△丁目○○番地

- 2 内容 別紙事業計画書のとおり

- 3 添付 書類 ・案内図

- ・公図写し

- ・既存建築物の建築確認済証
又は既存建築物の登記事項証明書
又は固定資産税通知書及び課税明細書
又は固定資産課税台帳及び土地・家屋名寄帳の閲覧による書類

- ・既存建築物等の配置図、平面図、面積表（除去範囲を記載）

- ・新築建築物等の配置図、平面図、面積表
（敷地面積、建築面積及び延床面積が分かるもの）

- ・敷地及び対象建築物の写真

- ・経費見積書（除却、設計を分離したもの）

- ・印鑑登録証明書

- ・その他【 】

上段：住居表示
下段：既存建築物の所在
（ただし、現在の地番と異なる場合は、現在（公図）の地番）



葛飾区不燃化特区建替え助成にかかる事業計画書

申請者及び工事業者

申請者 氏名			
既存建築物 所有者氏名	申請者と異なる場合のみ記載(委任者氏名)	土地所有者氏名	借地の場合のみ記載
工事業者	除却工事業者 連絡先		
	建設業者(設計者) 連絡先		

申請資格条件

☐ 本申請における建替え工事は、販売を目的としたものではありません。
☐ 本申請は、木造住宅の耐震化支援事業の他、除却、設計・監理、建築工事に係る助成と重複していません。

上記内容を確認の上、チェックボックスにレ点を記載してください。

事業スケジュール

既存建築物除却工事 (解体工事)	令和 年 月 日着工予定	令和 年 月 日完了予定
建築本体工事 (新築工事)	令和 年 月 日着工予定	令和 年 月 日完了予定

事業経費計画

工事種別	費用 (税込金額)	工事種別	費用 (税込金額)
既存建築物 除却工事 (解体工事)	千円	建築本体工事 (新築工事)	設計費 千円
			工事監理費 千円
			合計 千円

事業費は千円未満は切り捨てて記載してください。

既存建築物除却計画

所在(地番)	葛飾区	家屋番号	
敷地面積	m ²	建築面積	m ²
延床面積	(うち住宅部分面積 m ²)	建物用途	住宅・共同住宅・その他()
建物階数	地上 階/地下 階	構造	木造・木造モルタル造・軽量鉄骨造 その他()
建築年月日	年 月 日	建築後経過年月	年 ヶ月

面積は小数点第三位以下を切り捨てて、小数点第二位まで記載してください。

建築本体工事計画

敷地面積	m ²	建築面積	m ²
延床面積	(うち住宅部分面積 m ²)	建物用途	住宅・共同住宅・その他()
耐火種別	耐火 ・ 準耐火		

面積は小数点第三位以下を切り捨てて、小数点第二位まで記載してください。

【記入例】



申請書と同じ印鑑で捺印を押印してください。

葛飾区不燃化特区建替え助成にかかる事業計画書

申請者及び工事業者

申請者氏名	葛飾 太郎		
既存建築物所有者氏名	申請者と異なる場合のみ記載(委任者氏名)	土地所有者氏名	借地の場合のみ記載
工事業者	除却工事業者 〇〇工務店	連絡先 03-0000-0000	
	建設業者(設計者) 同上	連絡先 同上	

申請資格条件

- ☒ 本申請における建替え工事は、販売を目的としたものではありません。
- ☒ 本申請は、木造住宅の耐震化支援事業の他、除却、設計・監理、建築工事に係る助成と重複していません。

上記内容を確認の上、チェックボックスにレ点を記載してください。

事業スケジュール

既存建築物除却工事 (解体工事)	令和〇〇年 〇月 〇日着工予定	令和〇〇年 〇月 〇日完了予定
建築本体工事 (新築工事)	令和〇〇年 〇月 〇日着工予定	令和〇〇年 〇月 〇日完了予定

事業経費計画

工事種別	費用 (税込金額)	工事種別	費用 (税込金額)
既存建築物除却工事 (解体工事)	建物内の残置物撤去費は除く。	建築本体工事 (新築工事)	設計、工事監理に関係のない費用は除く。(瑕疵担保保険業務等)

事業費は千円未満は切り捨てて記載してください。

既存建築物除却計画

所在(地番)	葛飾区 〇〇〇丁目〇〇番	家屋番号	〇〇番〇〇
敷地面積	〇〇. 〇〇 m ²	建築面積	〇〇. 〇〇 m ²
延床面積	〇〇. 〇〇 m ² (うち住宅部分面積〇〇. 〇〇m ²)	建物用途	住宅・共同住宅・その他()
建物階数	地上 〇 階/地下 〇 階	構造	木造・木造モルタル造・軽量鉄骨造 その他()
建築年月日	昭和〇〇年 〇〇月 〇〇日	建築後経過年月	〇〇年 〇ヶ月

面積は小数点第三位以下を切り捨てて、小数点第二位まで記載してください。

建築本体工事計画

敷地面積	〇〇. 〇〇 m ²	建築面積	〇〇. 〇〇 m ²
延床面積	〇〇. 〇〇 m ² (うち住宅部分面積〇〇. 〇〇m ²)	建物用途	住宅・共同住宅・その他()
耐火種別	耐火・準耐火		

面積は小数点第三位以下を切り捨てて、小数点第二位まで記載してください。

委 任 状

住 所
氏 名
電 話

私は上記の者に、葛飾区不燃化特区建替え助成金交付要綱に基づく、助成金の交付申請等に関する次の事項を委任します。

- 1 助成金の交付申請等の手続きに関すること。
- 2 助成金の請求及び受領に関すること。

令和 年 月 日

委任者 住 所
氏 名
電 話

印

委 任 状

住 所 ○○○○○○
氏 名 葛 飾 次 郎
電 話 ○○○○○○

私は上記の者に、葛飾区不燃化特区建替え助成金交付要綱に基づく、助成金の交付申請等に関する次の事項を委任します。

- 1 助成金の交付申請等の手続きに関すること。
- 2 助成金の請求及び受領に関すること。

令和 年 月 日

委任者 住 所 ○○○○○○
氏 名 葛 飾 太 郎
電 話 ○○○○○○

印

実印を押印
してください。

【例①】既存建築物を2親等以内の親族が解体し、新築する場合

「葛飾太郎さん(父)」が既存建築物の所有者であり、
「葛飾次郎さん(子)」が既存建築物を解体し、新築建築物の所有者となる場合。

【例②】既存建築物が共有名義の場合 or 建替え建築物が共有名義の場合

既存建築物 or 建替え建築物が「葛飾太郎さん」と「葛飾次郎さん」の共有名義で
「葛飾次郎さん」を申請者とする場合。
(助成金の申請と受領は1名に決めています。)

令和 年 月 日

葛飾区長 あて

同意書

住 所 _____

氏 名 _____ ⑩

電話番号 _____

私は、下記の建物、工作物について、 _____ が、除却工事及び建替え工事を行うことに同意します。

記

建物の表示	
所 在	葛飾区 丁目 番地
家屋番号	
構 造	
床 面 積	m ²

【例】既存建築物が「長屋」でその専有部分の区分所有権ごとに助成対象とする場合
「葛飾太郎さん」が本助成対象とする専有部分の所有者であり、
「葛飾次郎さん」が既存建築物のうち本助成対象でないほかの専有部分所有者の場合。